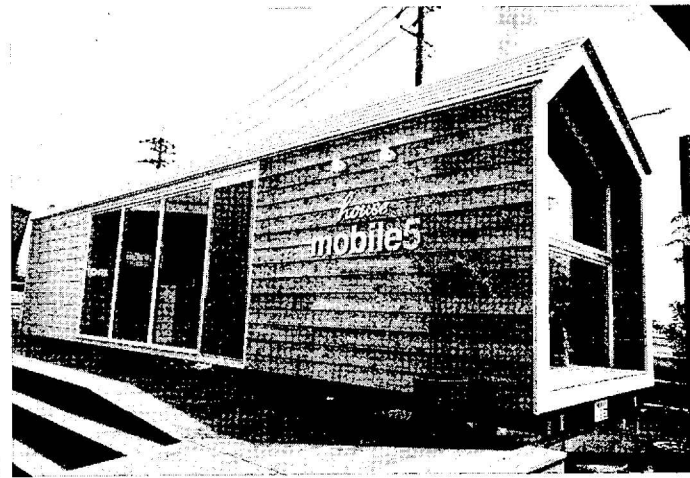


愛知・三河地域 住宅会社相次ぐ

【名古屋】愛知県三河地域の住宅会社が相次いでトレーラーハウス事業に参入した。夏目デザイン（愛知県豊橋市、夏目学社長）は1日に展示場をオープンし、販売を開始。丸七住宅（愛知県幸田町、岩本敦行社長）は7月末にモデル棟を完成、受注を始めた。トレーラーハウスは大手ではミサワホームが9月1日に発売するなど、近年はライフスタイルの変化と併に需要が拡大。さらに会社の寮として活用を検討する企業が増えている。（名古屋・星川博樹）

トレーラーハウス参入



デザイン重視の夏目デザイン

夏目デザインは「地長さ11×幅3×高さ3域に貢献し、地元の若者が働く場所を提供し、0万円（消費税込み）たい」（夏目社長）とから、同社はすでに6して既存事業からの多件を受注。夫婦世帯か角化を図った。オーブのほかに、社員寮としンした展示場「モバイ」で活用する企業からもル5」には住宅、店注文があった。

丸七住宅も企業から社員寮用に受注した。同社は不動産、分譲住宅などを手がけ「経営資源を有効活用できもデザインを重視する」（岩本社長）とした。（同）ゼロ・エで参入を決めた。トレーネギー・ハウス（Z）ラーハウスは法令EH）と同等の断熱性上、建築物ではなく車能も備えた。価格は、両扱いとなるため、市

ライフスタイル変化 需要拡大



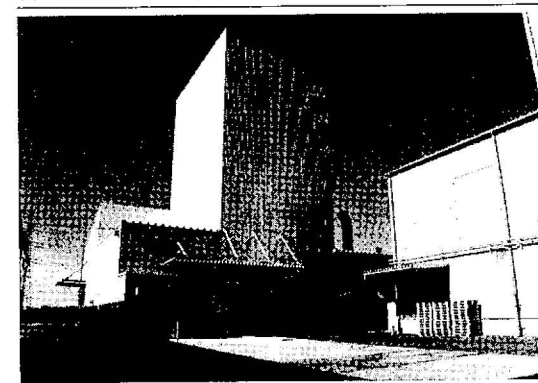
分譲住宅のノウハウを結集した丸七住宅

客さまが賃貸や社員寮として利用する需要がある（同）傾向にあるという。プ同社は長アレイジャーを楽しむ若さ11、幅3・4の世帯では戸建て住宅が値上がりしているこI K A W ハウスへの関心が高まに設置。9 また企業からは「外70万円 国人労働者には日本の（消費税込）アパートよりも、デザ売を始め、イン性に勝るトレーラた。今回の受注では同（夏目社長）とのサイズのト人口減もあつて戸建て住宅市場は今後も縮割して、寮小が続く。トレーラーとして活用ハウス市場は将来性がされる。今後は小型化未知数だが「ミサワホするなどとして用途の拡

NEWS 拡大鏡

粉体加工、能力1.3倍

井村屋フーズ、新工場あす稼働



の生産能力は従来比1・3倍の年2700トになる見通し。健康食品といった機能性素材など粉体事業の拡大に加え老朽設備の更新による二酸化炭素（CO₂）排出量低減、作業負担軽減などを狙う。スプレッドライヤーは醤油や野菜・魚介類のエキスを乾燥し粉体に加工する。同社は井村屋フーズの傘下で造加工を担3棟のうち1棟を更新した。投資額は非公表加工二

フードロス削減実

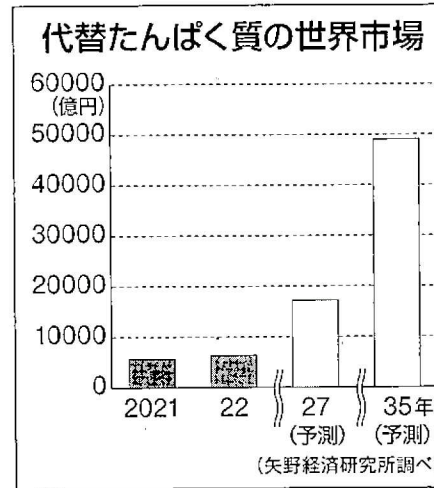
阪急阪神HD 専用アプリ

阪急阪神ホールディングス（HD）は大阪市北区の商業施設「阪急三番街」で、フードロス削減のためのサービス「フードロスの実証実験」を始めた。同施設のカフェや洋菓子店など7店舗がまだ食べられるが廃棄予定のフードロス商品を専用アプリケーションに出る。都合のよい時間に

女性の肌悩みに対応

花王、洗浄料など新ライン

花王は5日、化粧品ブランド「トワニー」で、女性特有の肌悩み「アブローチする商品」を開発した。同ブランド「トワニー」の「デリケートゾーン」のケア用洗浄料「デリケートケアウォッシュ」と保用「デリケートケアクリーム」を発売する。デリケートゾーンの肌ケアは洗浄と保湿が重要という。デリケートケアウォッシュ（150g）は、消費税込みの価格は2750円。バは、微細で弾力性のある目指し、生い情報を取うウェブサームを開発する。



35年予測、矢野経済研

市場は畜産と比較して水の使用やGHGの排出を抑制する持続可能な性の高さ、健康志向の高まり、食の多様化などを背景に拡大してき技術が進展しており、た。すでに一定規模の市場を持つ米国や欧州

日本でもネクストミ

ツ（東京都新宿区）などが植物由来の肉を取り扱っている。

矢野経済研究所は22年の代替たんぱく質の世界市場規模は6395億7300万円と推計。22年から23年にかけては、不安定な世界情勢により食品の不安定化や価格高騰もあり、今後の食品安全保障の強化が課題となっていると指摘する。

また、見た目や味を本物に近づける生産技術の開発、生産コストの削減、認知度の向上なども進み、市場は大きく拡大すると見ている。

生活インフラ・医療・くらし